

おの不安を解消したいので、その不安の中から始めていただきたい。それは自分の心のなかを見、裏機になるかも知れない。志やへん」と聞いた私の問を受けたて、自分の志を目的の、自ら努力を欲しいのである。

學長大西昭男



に、透谷や藤村たちがいかに重大な衝撃を受けたか。果たして、一日中食わず、寝ねず、思っていたが故に、主人公は「殆（あわづ）くなつたのではあるが、にも拘わらず、或いはさればこそ、青年たちは「考え（る）」との存在に魂を醒せたのである。

何を考えるのは、下宿に終日閉じこもるはくでもいい。歩きながら考えた哲学者メモルトを枕元に置いて、いわば寝ながら考えた科学者のこととは諸君がご存じであつ。いや、このようなふた種の専門家のみ限らない。サッカーの達本は次のように言った。「蹴り、走りながら、先へ先へと、イメージを拡げていく。それを肉体で表現していく。戦略を読む力が、そのまま技術になり、闘志になっていく」。これが学生時代のアーヴィングのであるから眞事という他ない。

思えば大変なことである。しかし、この日に当たって敢て私はそのぞみたいのである。歩く前に考え、歩きながら考え、歩き終わってから考える。学びつゝ、動きつつ、考えて欲しいと願っているのだ。その「考え（る）」の中から何が出てくるのか、何が展開されるのか、その無限の可能性に期待したい。

かつて明治の青年たちが、「いかに考へるといつ」とを重視したが。「罪と罰」の翻訳を、初めて手にして、ラスコリニコフが下宿で、一日中考める「どう」とを繰り返している場面

A black and white photograph capturing a wide-angle view of a large, open-air sports facility. In the center, a massive, ornate grandstand with multiple levels and a prominent balcony stands behind a wide, paved area. To the right of the grandstand, a large, dark, rounded tree dominates the scene. In the foreground, a soccer field is visible with several players scattered across it. A long, low wall runs along the left side of the field. On the far left, a group of people, possibly spectators or officials, are standing near the wall. The background is filled with the intricate branches of bare trees, creating a textured, almost abstract pattern against the sky. The overall atmosphere is one of a formal, early 20th-century sports venue.

般教育のあり方



佐藤 博

諸君は、これまでの業績で
社会で役割を果たすわけですが
たとえば工学部の学生でも、社
においては、単に専門的技術者
として一人歩きするのではなく、こ
んなかの組織の中で働き、また
一市民として生活を送るのです。
企業にせよ、社会にせよ、諸君
取り巻く環境があるわけです。こ
れらの環境に適応するにせよ、ナ
た環境を改善するにせよ、な
ど専門的知識以外の判断力が必要
なのです。このような判断力のな
確となるのが、幅広い教養なので

育関係の科目だとか言ってきましたが、これらの中には、やがてかかるように、人文科学分野、社会科学分野、科学分野、自然科学分野の三つに分野に分かれた一般教育科目、さらには総合コース、外国语等が含まれています。しばしば、これは教養科目と呼ばれることがあります。言葉はやや古いけれど、制大学の発展時には、これらは学での重要な学糸目として位置づけられたものです。その後、大学を取り巻く環境や大学自身も変化して来たので、その意義も変化しましたが、今日においても重要な科目であることは変わりません。

本号の内容

方千里眼として「総合点」日本望昭57年内に会った本紙報道セクション、オーブン、運動車両についての通信報連絡大通報

しかし、これには、一般教育が何に役立つかといふことはかりで、なにか押しつけのようと思われるかもしれません。諸君にとっては、いくら一般教育の効能書きを聞かされても納得いかない点が多いでしょう。自動車の免許を取りよくな楽しみはないわけです。入学したたゞの諸君にとって、結局は、卒業所要単位に含まれているから、必修や選択必修となつてゐるから、といった考え方で苦り苦しんでしまうかもしれません。

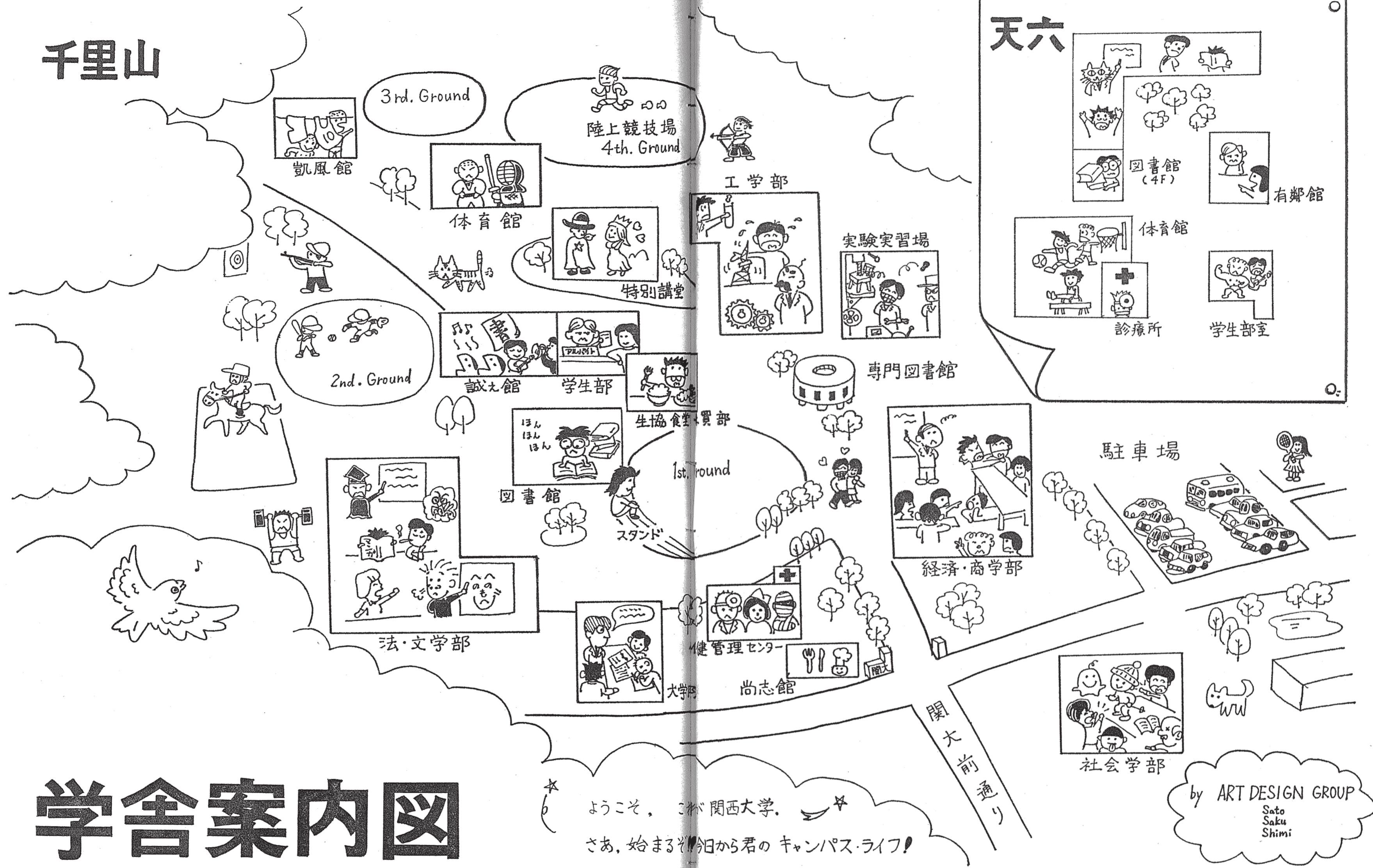
る
教
識が必要となります。もちろん、われらの知識があれば、より深く理解出来るということです。これらのことについても言及することです。また時には、新しい知識や情報を得るために、外國語の文献を読む必要が出てくるかもしれません。あるいは、自分の専門が、他の専門とどう関係しているか、また全体の学問の中でのよき位置を占めているかを知ることも大切です。このように一般教育と専門教育とは密接な関係をもっています。このことから、しばしば一般教育は専門教育の基礎であるという人もおられます。

す。一般教育は、教養ある市民を育成する教育だと考えるのであります。

また、今日の社会現象は極めて複雑であり、また人々の価値観も多様化しています。経済学部に所属している学生が、専門科目で、たとえば財政学を学ぶとして、それには、歴史や政治の知識、さ

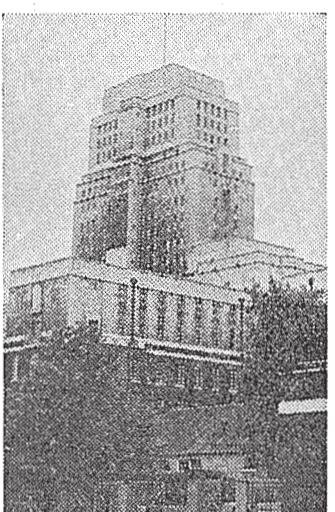
目に思いをはせて考える必要的なもの愛いとと思います。それよりも、はじめの方で申し上げたように、頭の切り換える方が大事です。大学において諸君がはじめてお目にかかる一般教育の学習に際して、諸君は、物の見方、考え方といったものの学んでほしいと思います。むずかしく言えば、世界觀人間

文藝時代のものではありますまい。
いまこそ、諸君の関西大学で
健闘を心から祈りたいと思ふ。
（経済学部教授）





ロンドン大学



ロンドン大学の本館

世界の大学
オックスフォードに比べれば、極めて歴史は新しい。一八三六年、学生数は才から五千の間、英國では中ぐらいの規模である。教員、院生中心の研究所は、主に医系を除けば、まだとした雰囲気。

カレッジ、研究所が比較的固

構成されている。各カレッジのままで存しているのは、大英博物館のすぐ北、ラッセル・スクエアの近辺。本部や中央中国語館もある。劇場の多いウェスト・エンド地区も遠くない。

ロンドン大学を訪れる日本人

研究者は毎年かなりの数にのぼる。大学の食堂や大英図書館の閑静な顔を合わせることもしばしば。

(法学部助教授・上田惟二)

魅力あふれる内容

82年度版発行

内容は、「大学とは」、「学問のいさな」、「大学生活」、「青春・思い出」、「四大の歴史」。

第一部では、「大学の歴史と課題」が述べられるなどとある。現学長の大学生としての新入生諸君に

よる「青春・思い出」が語られ

て、大学時代の青春をつづっても

読みやすいようにまとめてある。

第四部では、本学卒業生によ

りて、大学時代の青春をつづっても

読みやすいようにまとめてある。

第五部

に触れており、座談会形式にして

対する熱い期待が語られている。

第二部では、「学問へのいさな

い」を掲載しており、新入生諸君

は「どういういさななのか、大

き」と新しい創意を凝らし、魅

力がある「大学」作りを行ってき

たが、昭和五十四年には、版権も

開かれた。

第三部は、勉学、クラブ活動な

るところを確信している。

この理解を深めておこうと目的

たが、昭和五十四年には、版権も

開かれた。

第三部は、勉